

大島地区津波避難タワー (おおし守るタワー)



施設概要

収容可能
人数

100人

避難フロア
までの高さ

5.5m

工事費

1億4千7百万円

特記 事項

◇円滑な避難を可能とするため、階段の幅を広くした上で、一段一段の高さを小学校と同程度としています。また、階段下には、自力で階段を登ることができない方を搬送するため、担架を備え付けています。

◇大地震発生時は、地震解錠ボックスが解錠(震度5強以上)することにより、鍵が取り出せるため、施設内に入ることができます。

◇避難フロアには、災害発生から2日間を過ごすために必要な物資を保管する備蓄倉庫を設けています。

愛称等 について

◇本施設の愛称は、吉田小学校5年の牧玲良さん
によるものです。(応募総数196件の中から決定)

◇本施設に掲出している看板は、吉良中学校2年の
判治伽恋さんがデザインしたものです。

(応募総数43件の中から決定)



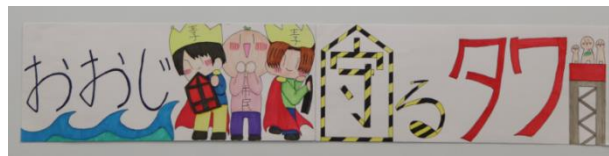
西尾市防災マスコット「ぼうさいくん」

津波避難タワーの愛称と看板デザイン

吉良町大島地区 「おおじ^{まも}守るタワー」

大島を守ってほしい／吉田小学校 5 年生 ^{まきれいら} 牧玲良さん

看板デザイン／吉良中学校 2 年生 ^{はんじかれん} 判治伽恋さん



工事概要

工 事 名 : 津波避難タワー建設工事【大島地区津波避難タワー（仮称）】

工 事 場 所 : 西尾市吉良町大島寺西 1 8 番地 2

発 注 者 : 西尾市危機管理局危機管理課

設 計 : 株式会社 阿波設計事務所

工 事 監 理 : 株式会社 豊田設計事務所

施 工 : 鈴博建設 株式会社

建 物 概 要 : 鉄骨構造 2 階建て 延床面積 1 6 9 . 5 4 m²